

平成30年度 三朝町立東小・三朝町立南小・上小鴨小国語研究部会
アドバイザー派遣事業レポート①

三朝東・三朝南・上小鴨小国語研究部会

- 1 研究テーマ 思いを豊かに伝え、主体的に学び合う子どもの育成
～身に付けたい力を明確にした国語科の授業づくり～
- 2 アドバイザー 玉川大学教師教育リサーチセンター客員教授 輿水かおり 先生
- 3 実施期日 平成30年6月5日（火）午後1時30分～午後4時45分
- 4 研究会場所 倉吉市立上小鴨小学校
- 5 当日の日程 公開学習 午後1時30分～午後2時15分
4年国語科 単元名 目指せ！読み取り名人！
教材文「ヤドカリとイソギンチャク」
(学習指導案は別紙)
みとりの視点
【言葉を手がかりにしながら、自分の考えをもつ子ども】
段落の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むことができたか。
研究協議 午後2時30分～午後3時30分
協議の視点
・つけたい力を明確にした単元構成・授業構成となっているか。
・本時の目標を達成するために、適切な支援がなされていたか。
指導助言 午後3時30分～午後4時45分

6 研究協議や指導助言で明らかになったこと

4年国語「ヤドカリとイソギンチャク」の説明文を教材として使い、文章のまとめや段落の関係を考える授業を公開し研究会を実施した。説明文は、筆者が意図したことを伝えるために文の構成を考えている。子どもたちは、まとめを入れ替えたり、抜いたりして読み比べ、違いを話し合うことで段落の関係の大切さを考えていた。三朝町立東小学校、三朝町立南小学校、倉吉市立上小鴨小学校3校の先生方が研究協議を通して意見を交流することで、授業に対するいろいろな視点での考えに触れ、国語科の授業のあり方について研究を深めることができた。

輿水先生には、学習指導要領の移行期間に入り、国語科学習で大切なことの話や説明的文章の学習のポイント、論理的思考を育てる説明文の読み取りの指導方法などの話をしていただき、ご指導いただいた。また、子どもたちが見通しをもって学習することが主体的な学びを育成するために大切なことや、論の展開のよさに気付く指導のあり方などのご指導をいただき、大変学ぶことが多かった。今回指導いただいたことを日々の授業に活かし、授業改善につなげていきたい。

